

## 米国留学準備のためのアメリカン・ソーシャルスキル学習： アサーションを課題とした上級セッションの記録

田中 共子\* 高濱 愛\*\*

### 【序】

我々は、アメリカ留学を控えた日本人大学生を対象に、異文化適応支援を目的とした認知行動レベルの異文化間教育を実施しており、本稿はその一連の研究の一部を報告するものである。多くの異文化圏への一時滞在者は、なじみの薄い文化行動に出会い、戸惑いや誤解を生じたり、社会的有能性を発揮しづらくなったりしている。当該文化圏における対人行動もまた、文化文法に倣って組み立てられており、滞在者にとっては不慣れなものである。対人関係形成に有用な認知と行動を、心理学ではソーシャルスキルとして概念化しているが、その学習方法は臨床領域で発展を重ねており、教育的な場面での適用も広がりつつある。異文化滞在者にこの方法を適用すれば、異文化間ソーシャルスキルの学習を組み立てることができ、異文化滞在の心理的な準備を行うことができるのではないか、と我々は発想した。

今回は実施したセッションのうち、比較的上級レベルと考えられる主張性を扱ったセッションの記録を詳細に示す。初級、中級、上級のパーツから成る、セッション全体に対する参加者の反応はすでに集約されて報告されているが(高濱・田中, 2009a, b, 田中・高濱, 2008)、そこではセッションで何がどうやりとりされていったのかという、具体的なやりとりは省かれている。しかし後続研究者が実際にセッションを実施してみようと思ったとき、また集約された反応がどのような発言や行為から生じたものなのかを理解しようとしたときには、具体的なやりとりという情報が必要であろうし、そこから読み取れることは少なくないと考えられるため、本稿にて詳細を提示する。

### 【方法】

#### 1. セッションの設定

米国留学を予定している、X大学の日本人大学生にセッションの説明と誘いを行い、希望者が自由意志に基づいて参加した。田中(1994)に、アメリカ留学用のソーシャルスキルとして紹介されている中から、留学生活で遭遇しやすく重要と思われる8個を選んで、90分/個×8回の学

\* 岡山大学社会文化科学研究科

\*\* 一橋大学大学院法学研究科

習を、3日間に分けて行った。セッションは2007年6～7月に断続的に実施されたが、本稿で報告するのは、上級スキル3つを学習した最終日の部分である。当該のセッションの実施方法の詳細は、高濱・田中(2009a)に記されている。

## 2. セッション参加者

表1にセッション参加者の属性を、参加者の留学に対する姿勢を表2に示した。

表1 セッション参加者の属性

参加者	性別	年齢	学年	留学予定大学
S2	男	20	3	A大学
S3	女	20	3	B大学
S4	女	20	2	B大学
S5	男	21	4	B大学
S6	女	21	4	C大学
S7	女	21	4	C大学

S2はスキル6を欠席

表2 参加者における留学に対する姿勢

参加者	海外渡航歴	渡航目的	最も心配なこと	心配なこと			準備したこと		
				友人ができるか	社会や文化に適應できるか	英語力	授業についていけるか	情報収集	情報源
S2	米以外の英語圏1ヶ月	英語力	授業					気候など現地の様子	先輩、留学生、インターネット
S3	米1ヶ月、他英語圏2カ国に各1ヶ月	英語力、異文化体験、視野拡大	英語で積極的に話せるか、環境になじめるか					大学や寮	留学経験者
S4		英語力						単位認定、ピザ	留学経験者、インターネット
S5	米1ヶ月、アジア半月	経験						寮、クラス	留学経験者
S6	米1ヶ月	英語力	異文化の生活。理解できないことがあったら落ち込みそう。					お金など注意事項	インターネット
S7	米以外の英語圏1ヶ月	英語力、異文化体験	適應できるか						インターネット

田中・高濱(2008)の表1に加筆、修正を加えた

### 3. セッションの手続き

課題場面ごとに、ロールプレイと肯定的フィードバックを繰り返しながら、文化的背景や行動の要領についての説明と質疑を加えて、模擬体験型の学習を行っていった。この学び方は認知行動療法におけるソーシャルスキルトレーニングの方法が基本になっているが、教育的なねらいにあわせて、筆者らが再構成した。セッションにおけるファシリテーターは本稿の著者二名が主とめ、アメリカから日本へ留学中のネイティブの学生2名(Jさん、Lさん、Nさん)がボランティアとして参加し、コメントをしたり演技例を示したりした。日本人学生が、ビデオ撮影などの補助役として参加した。

演技は英語で行うよう指示されたが、説明は日本語で行われた。英語表現に間違いが含まれないようにすることよりも、自分の意志を伝えられるかどうかにかたよりに力点を置き、相手に与える印象を考え、言語のみならず非言語の成分も留意するように教示されている。

### 4. セッションでの学習内容

テキストに記載されているスキル6、スキル7、スキル8の学習内容を表すものとして、課題場面と学習のポイント、有用な表現例を表3に示す。課題場面欄の末尾の数字は、中心的な参考文献である田中(1994)の該当ページを示す。言い回しの参考に、鶴田・ロシター・クルトン(1988)も参照した。

## 【結果】

表4から表15に、セッションの対話と発言の記録を示した。対話記録においてT1は本稿第一著者、T2は本稿第二著者を意味する。講師とある場合はT1とT2のいずれかの発言であることを意味する。フィードバック部分においては、本人とあるのは演技者自身、参加者とあるのは他の日本人参加者を意味する。英語表現については、基本的に発話されたままを記してある。参加者の反応や時間的な余裕にあわせて、フィードバックに含まれるやりとりは場面によって少しずつ異なった。

表3 スキル6・スキル7・スキル8に関するテキストの記載

【スキル6 先生に要求を伝える】	
1. 課題場面	学期末のテストが始まり、経済学のクラスでin class examを受けることになりました。これは、教室で学生が一斉に行う形式の試験です。持ち帰って行うレポート形式のtake home examならまだしも、この形式の試験となると心配です。留学してまだ数ヶ月なのに、初めて見る文章を辞書なしで読み、他のアメリカ人の学生と同じ時間内に解答できるのか。たとえ答えが分かったとしても、ボキャブラリーに不安があるだけに、ちゃんと英語の文章にできるのか。そこであなたは、担当の先生に事情を説明して、試験時間中に電子辞書の持込を許可してくれるように頼んでみるのはいかがでしょうかと考えました。運良く、授業の後で先生をつかまえることができたのですが、さて、どうやってあなたの希望を伝えればよいでしょうか？( pp. 232-233 )
2. ポイント	問題を感じたら、率直に先生に言いに行きましょう。
3. 解説	授業が始まったら、先生と話す必要が早速出てくる重要な話題として、テストと宿題のことがあげられます。テストや宿題に関して、特別な配慮を必要としているなら、先生にそれを伝えに行きましょう。なぜこのような要求をするのか、自分の状況と要求の理由をきちんと説明して、率直に相談するという姿勢を持ちましょう。そのような要求は失礼でも無神経でもありません。ハンディに見合った、むしろフェアな扱いを要求している、とみることもできるからです。先生の関心は、学生の意欲にあります。ハンディがあっても意欲的に学ぶ姿勢がある学生を、先生が応援してくれることも少なくありません。黙って諦めてしまうより、先生に言いに行ってみましょう。
4. Useful expressions	a. Professor Green, I have something to ask you about the test coming up next Monday. Do you have some time to spare? b. I was wondering if I could use an electronic dictionary during the exam. c. I think your class is very interesting, but the technical terms used in the class are sometimes too difficult for me to understand without using a dictionary.
【スキル7 交渉する】	
1. 課題場面	大学の文房具店で、2日前にボールペンを買いましたが、使ってみるとインクが出てきません。お金を返してもらおうか、新しいボールペンに交換してもらいたいと思っています。お店の人に対して、どのように交渉すればよいでしょうか？( pp. 84-85 )
2. ポイント	アメリカ人はよく主張して盛んに交渉します。
3. 解説	日本よりももっとアサーションを自然で当然なこと、不可欠なことと考えているアメリカ人の態度は、時に日本人にとっては遠慮がなさすぎると感じられるかもしれません。しかしアメリカ社会のルールとしては、しっかり主張しきちんと交渉をすることは、物事を決めていくための当然の営みであると受け止められています。自分の提案を相手がどう感じるか過度に気かけたり、結果がうまくいかどうかを気にするあまり、主張の機会を逸してしまったりするのは考え物です。チャレンジ精神を持って、積極的に交渉してみることが大切です。交渉の際には、できるだけ[ 1 ]状況をきちんと説明し、[ 2 ]要望や提案の理由を明確に挙げながら、[ 3 ]交換条件があれば示すようにすると、うまく行きやすいでしょう。
4. Useful expressions	a. I bought this ballpoint pen here two days ago. But this pen has a problem with its ink and I can't write with it. I think something is wrong with it. b. Is it possible to get a refund instead of having it fixed ( ...instead of having the ink refilled )? c. If you could let me exchange the pen for another one, it would be appreciated. d. Then, can I exchange it for another one?
【スキル8 依頼を断る】	
1. 課題場面	あなたは、アメリカ人の友人から、彼(女)の家で行う今週末のパーティに、日本食を作って持ってきてくれないかと頼まれました。しかし残念なことに、あなたの寮にはキッチンが無いため料理は作れず、友人の依頼を引き受けることはできません。だから以来は断らざるをえませんが、でも日本からレシピを持ってきているので、もし彼(女)の家でキッチンを借りて作るということならば、料理を提供できるかもしれません。その友人に、このような事情を説明してみましょう。( pp.86-87 )
2. ポイント	相手から依頼されてノーというときは、理由や代替案を明確に伝えるようにしましょう。
3. 解説	何か頼まれたとき、ノーという返事が必要になるときもあるでしょう。自分がなぜノーと言っているのかを、相手に理解し納得してもらうには、理由や代替案を明確に伝えることが役に立ちます。
4. Useful expressions	a. Actually, I really want to, but I don't think I can make it because there is no kitchen in my dorm (international house) I have an idea though. I have a Japanese cookbook, so if I could use your kitchen, we could make some Japanese food together for the party.

カッコ内に示したページ数は、参考文献(田中、1994)の該当箇所を表す。

表4 スキル6の対話記録(1回目ロールプレイ)

**ロールプレイヤー回目**

S5: Excuse me? I take this class and I'm afraid of taking the test in the this class because I came to here, it's still a few months ago I arrived here, and, this is the first time to take English test and I've never taken before. And I also studied economics in Japan, but I'm afraid some difficult vocabulary, maybe I can't understand it and I don't have enough time. So, would you permit using the dictionary for me?

J: Oh, yes. I think... It will be fine.

S5: Oh, thank you.

S6: Excuse me? May I speak with you?

J: Oh, certainly.

S6: I'm... In fact I'm worried about the test, the exam in class because this is my first time to take economics class and I came here a few months ago. So, I'm worried about, I'm afraid my English vocabulary is not enough for the exam. So, may I use my English dictionary in the exam?

J: An electronic dictionary? Yes, yes, I think that will be fine.

S6: Thank you very much. I will do my best.

S4: Excuse me, but I have something to ask? My English vocabulary is not Ok. So, is it okay if I use

English dictionary?

J: OK, that will be fine.

S4: Thank you very much.

S7: Excuse me? May I speak with you now?

J: Sure.

S7: Thank you very much. My name is X. I'm an exchange student for Y University, and I came here just three months ago. This is the examination is the first time for me. I have a lot of anxiety, one is the vocabulary problems, yeah so, and whether I can finish the examination in the class or not, I have a, this is my anxiety so... Could I bring, bring in this one in the examination?

J: Yes, yes. I think it will be fine.

S7: Thank you very much. I'm relief. Thank you very much.

S3: Excuse me? My name is X. I'm from Japan and an exchange student. I take your class and I'm going to take exam. And I have difficulty in difficult vocabulary, so I'm so nervous, so can I use dictionary during the exam?

J: Oh, yes. I think that will be fine.

S3: Thank you.

表5 スキル6のフィードバック記録(1回目ロールプレイ)

**フィードバックer回目**

**【S5の演技】**

参加者「自分が経済の勉強をしていたことや、理由がちゃんと説明できていた」「理由が明確だった」

Jさん「3ヶ月前に来たので、ポキャブラリーが少ないと言っていたので、イントロダクションがとてもよかった」

Lさん「とてもよかった」

**【S6の演技】**

参加者「最後の挨拶がよかった」「全体的にはっきりしていた」

本人「今日はとても難しかったが、自分では必死にやったので、アイコンタクトが自然に出た」

Jさん「アイコンタクトがすごくよくできていた」

Lさん「理由が言えていたし自信があったように感じられた」

**【S4の演技】**

参加者「アイコンタクトができていた」

本人「自分で何を言っていたのか、恥ずかしい感じがする」

Jさん「緊張するのであれば、準備してからの方がよいが、他はパーフェクトにできた」

Lさん「もう少し声を大きくしたほうがよい」

**【S7の演技】**

参加者「構成や流れができていたし、理由も言えていた」「構成も態度もよかった」

Lさん「理由がきちんと言えていたのでよかった」

**【S3の演技】**

参加者「自己紹介がしっかりできていたし、態度がよかった」「声ははっきり聞こえた」

Lさん「始めの出だしがよくできていたので、とてもよかった。途中で少しつまってしまったようだが、気にせず、この調子でよい。」

**【まとめ】**

講師「既にできていた人も多かったが、導入部分で、名前や留学生だといった自分の情報を伝えること」「自信のある態度で臨むこと」「語彙がないからといって、萎縮したり恥ずかしがったりしなくてもよい。自分が悪いと思わず、堂々と話をして構わない」

表6 スキル6の対話記録(二回目ロールプレイ)

ロールプレイ二回目

S5 : Excuse me? Can I talk with you? I'm from Japan. I'm taking your class, I'm afraid about the test we will have next week. It's been just for three months I've been here. And I'm afraid about vocabulary problem. Even though I was taking economic class in Japan also. But, maybe I have not enough time. So, I may use the dictionary? Is it OK?  
 J : Oh, yeah, I think that'll be perfectly ok.  
 S5 : Oh, I feel better. Thank you.

S6 : Excuse me? May I speak with now?  
 J : Sure.  
 S6 : I'm taking your class, my name is X from Japan. I've been here for only a few months. So I don't think my English vocabulary is enough to take this exam. So I was wondering if I could.... if you could allow me to use English dictionary when I take the exam?  
 J : Oh, yes. That's not a problem. It would be fine.  
 S6 : Oh, that will help me. Thank you.

S4 : Excuse me? I'm an exchange student from Japan. May I speak to you?  
 J : Sure.  
 S4 : To tell the truth I have talking this class and I have to take exam next Monday. To tell the truth, my English has not developed yet. And, it might be too difficult to take exam without dictionary. Would you

mind if I use the dictionary in this exam?  
 J : Oh, yeah. If that's going to help you. That will be fine.  
 S4 : Thank you for your kindness

S7 : Excuse me? May I speak with you now?  
 J : Yes, sure.  
 S7 : My name is X, and I'm an exchange student from Y University, I came here just 3 months ago. Now I take your class, and you know, I have a big examination next week. Now I have a lot of anxiety. One is the vocabulary problems and whether I can finish the examination in your class. So I'd like to bring this one during the test. Is it OK?  
 J : Yes, I think that'll be perfect.  
 S7 : Thank you very much. I keenly prepare for your examination.

S3 : Excuse me? May I speak with you? I'm X. I'm from Japan and I'm an exchange student. I take your class and I am going to take the exam. I have studied economics in Japan. But I'm so nervous because I have difficult preparing for difficult vocabulary, so, can I use dictionary during the exam?  
 J : Yes, that wouldn't be a problem.  
 S3 : Thank you. I will do my best.  
 J : OK.

表7 スキル6のフィードバック記録(二回目ロールプレイ)

フィードバック二回目

【S5の演技】  
 参加者「英語がすらすらと言っていて、自分の情報も言っていた」「うらやましいくらいできていた」  
 本人「2回目は1回目よりもよくならなければいけないと思って、いつも緊張する」  
 Jさん「自然に言っていた」  
 Lさん「とても良かったし、自信を持ってできていた」  
 【S6の演技】  
 参加者「すごく丁寧な言い方がすらすらと出ていた」「最初に自分の情報をちゃんと言っていて礼儀正しい」  
 本人「2回目の方が直そうとして、自己紹介を入れようとしたため、かえって緊張して言いたかったことが言えなかった」  
 Jさん「とてもよかった」  
 Lさん「自信もありスムーズに言っていてとてもよかった」  
 【S4の演技】  
 参加者「自分の情報や理由がちゃんと言っていてフレンドリーな感じだった」「アイコンタクトができていた」  
 Jさん「緊張で手が震えていたところもあったが、前回よりずっとよくなった」  
 Lさん「内容が増えたとし、自信も増したようだった。先生にも誠意が伝わると思う」  
 【S7の演技】

参加者「最初のところで先生にきちんとと言っていたのがよかった」「先生からいいと言ってもらった後で、ちゃんと丁寧な言葉で続けられていたのがよかった」  
 本人「最後の部分で、『テストを頑張るぞ』という感じを出して、印象をアップさせて終わるようにした」  
 Jさん「最後に『先生ありがとうございます』という感謝の表現ができていたのは、とてもよかった」  
 「一生懸命に勉強したいのだが、語彙が足りない、という先生は助けたいと思うだろう」  
 Lさん「とてもよかったし、前回より緊張していなかったように思った」  
 【S3の演技】  
 参加者「簡潔で過不足が無く、すごくいい」  
 本人「もっと堂々とした態度でやりたかった。声が小さいのではないかと心配」  
 Jさん「とてもシンプルだったが、問題ない。声の調子も心配ない」  
 Lさん「自分が緊張していることを、とても率直に言っていたので、先生も理解を示してくれるだろう。先生も近くにいるだろうから、声の調子は心配要らない」  
 【まとめ】  
 Jさん「とてもよくなったので、大変感心した」  
 Lさん「十分効果的に話しができています」  
 講師「自分では小さな問題を感じているかもしれないが、おおむね良くできています」

表8 スキル7の対話記録(一回目ロールプレイ)

ロールプレイヤー回目	S7 : Thank you very much.
S2 : Excuse me? I bought this pen two days ago, but I can't write. (ペンで書くジェスチャーをする)	L : Thank you.
L : Oh the ink doesn't come out.	S4 : Excuse me?
S2 : So please change another one.	L : Yes.
L : You'd like a new pen?	S4 : I bought this pen two days ago, but it...it doesn't work.
S2 : Yes.	L : Oh, no!
L : Okay, do you have your receipt?	S4 : So I want change this pen to another one or ...could you pay back money?
S2 : ... Yes. (笑)	L : O.K. And do you have a receipt?
全員 : (笑)	S4 : Yes.
S2 : I have. (レシートを手渡す)	L : O.K. Which would you like, refund or would you like your money ...or would you like a new pen?
L : OK, there's no problem.	S4 : Uh...change.
S2 : OK. (ペンを手渡す) Thank you. Bye.	L : You'd like a new pen?
S3 : Excuse me?	S4 : Yeah.
L : Yes.	L : O.K. No problem. Here you go.
S3 : I bought this pen two years ago here, but I can't use this because ink is ...ink don't come out, so can you exchange this pen to another one?	S4 : Thanks.
L : Oh...	L : Thank you.
S3 : Can you ...pay...back?	S6 : Excuse me?
L : Ah...O.K. When did you buy, purchase the pen?	L : Yes.
S3 : Pen? Two years ago.	S6 : Uh...I bought this pen two days ago, but I think ...I don't think this pen works well.
L : Two Years ago...?	L : Oh really?
S3 : ああっ! あ~! (笑)	S6 : So can I get a refund for this pen?
全員 : (笑)	L : Sure, no problem. Do you have your receipt?
S3 : Sorry. (笑)	S6 : Yes !
L : Well since it's two days ago? Sure! Do you have your receipt and your pen? OK. Which would you prefer? Would you prefer a new pen, or would you prefer your money back?	L : Very good. Here's your refund....
S3 : Uh...n, I'd like to exchange...	S6 : Thank you very much.
L : You'd like to have a new pen?	L : Thank you.
S3 : Yes.	S5 : Excuse me?
L : O.K. Here you go.	L : Yes.
S3 : Thank you.	S5 : I bought this pen two days ago here, but this doesn't work, so uh...could you...please uh...pay back? Or I wanna have alternative one.
L : Thank you.	L : O.K.
S7 : Excuse me?	S5 : Which one? Which is O.K.?
L : Yes.	L : You're can have either. Would you like a refund? Or would you like a new pen?
S7 : Uh...I bought... uh...this pen...uh...two days ago and this is receipt.	S5 : I wanna have a new pen.
L : Uh...O.K...you'd like a refund or would you like a new pen?	L : O.K. No problem. You have your receipt?
S7 : Uh...It seems to be out of order. When I use it, I can't write anything, so please exchange a new one.	S5 : Yeah, here !
L : O.K. Uh...Here's your new pen, and here's your new receipt.	L : O.K. And here's your pen and new receipt.
	S5 : Thank you.
	L : Thank you.

表9 スキル7のフィードバック記録（一回目ロールプレイ）

**フィードバック一回目**

**【S2の演技】**

参加者「最後の答え方などが、すごく自然な感じがした」「インクが出ないことをジェスチャーで示せていたのが良かった」

Jさん「全く問題ない」

Lさん「インクが出ないことの説明が自然にできていてよかった」

**【S3の演技】**

参加者「少しコミカルなところがあったが、すごくよかった」「元氣よく楽しそうに話せていた」

Jさん「小さなミスがあっても止まらなかったのがよかった」

**【S7の演技】**

参加者「流れが自然で分かりやすかった」

本人「インクが出ない、という表現が分からなかったので迷った」

Jさん「分からない表現の代わりに別の言い方を使ってもよい」

**【S4の演技】**

参加者「言い方がすごく丁寧」「流れがスムーズ」

Jさん「Lさんと同じ意見」

Lさん「とてもよかった。返金してもらうのか、あるいは交換してもらうのかなど、はじめに何がしたいのかを考えてから行くと、話を進めやすくなる」

**【S6の演技】**

参加者「実際の場面でも対応できそう。すらすらできていたし、シンプルでよい」「すごく楽しそうだった」

本人「簡単に感じた」

Jさん「とても元氣だった」

**【S5の演技】**

参加者「とてもスムーズ。返金と交換とどちらができませんかと丁寧に聞いていて、自然な感じがし、落ち着いて見ることができた」「流れがスムーズで適切な表現ができていてよい」

本人「表現が一つしか思い浮かばなかったもので、今後もっとバリエーションを増やせるように勉強していきたい」

Jさん「パーフェクトにできていた」

**【まとめ】**

講師「今回の場面は、やりやすかったと感じた人もいたようだが、それは相手によるところもあると思う。今回の場面はビジネスライクな場面だったことも影響しているだろう」

**ネイティブによる見本のロールプレイ**

**<バージョン1>**

J: um, pardon me.

L: Yes.

J: I bought this pen here two days ago and it doesn't work at all. Would it be possible to get a refund or an exchange pen.

L: Yeah, sure, do you have your receipt?

J: Oh yes, absolutely, it's right here.

L: O.K. It'll be no problem.

J: Oh lucky for me

L: and there you go

J: I see Thank you.

**<バージョン2>**

J: Hi, excuse me? I bought this pen here two days ago but it doesn't work at all really. Can I exchange it or get a refund

L: Yes, of course. Do you have your receipt?

J: No, actually it was in my pants and I washed my pants and I don't have it anymore.

L: I'm sorry but without a receipt there's nothing I can do for you.

J: Nothing...but it's just two days ago that I bought it and it doesn't work at all.

L: Yes... but we don't know if you purchased this pen here.

J: um but I shop here a lot, like yesterday. I shop here all the time.

L: I understand but

J: Uh...can I speak to your manager to see if you can

L: Sure...I'll go get him.

J: Thank you.

**【まとめ】**

Jさん「ペンを交換してもらったときに笑顔だったが、それはこちらの利益になることを頼んでいる場面なので、フレンドリーな笑顔も必要」

Lさん「販売員に対応してもらうためには、礼儀正しく接した方がよい」

講師「販売員と接する時にはこやかにして、このお客さんには何とかしてあげようと思ってもらうことが必要。文法的に完璧な英語を話すよりもむしろこういったことが重要。愛想良く話したり、好感を持ってもらったりすることは、相手からの親切を引き出すためには重要なポイント」



表10 スキル7の対話記録(二回目ロールプレイ)

ロールプレイ二回目

S2 : Excuse me?

L : Yes.

S2 : I bought this pen two days ago here but it does not work well.

L : Oh...I see.

S2 : So please exchange another one.

L : O.K. You'd like another one Do you have your receipt?

S2 : Yes.

L : And here's your new receipt and your pen.

S2 : Thank you. Bye.

S3 : Excuse me?

L : Yes.

S3 : I bought this pen two days ago, but I write with this pen and it doesn't work, so I would like you to exchange new one.

L : Oh, O.K.

S3 : Here's my receipt.

L : Oh, thank you. Here's your receipt and your pen?

S3 : Thank you.

L : Thank you.

S7 : Excuse me?

L : Yes.

S7 : I bought this pen two days ago but doesn't work well, so is it possible to exchange this one to new one?

L : Yes, of course. Here's your new pen.

S7 : Thank you very much. Thank you.

S4 : Hey, excuse me?

L : Yes.

S4 : Uh...I had bought this pen two days ago but doesn't work. I would like to change this pen to another one.

L : O.K. You'd like to exchange it.

S4 : Thanks. Here's the receipt.

L : O.K. NO problem.

S4 : Thanks. Also I need papers. How much is it?

L : Oh, the papers are two dollars.

S4 : Oh, I just have two dollars.

L : O.K. Here you go.

S4 : Thanks.

S6 : Excuse me?

L : Yes.

S6 : I bought this pen two days ago here but this pen doesn't work at all. Could I have a new one?

L : Sure...actually don't do exchanges here. But we can return your money.

S6 : Really? O.K. So...I want to get a refund.

L : O.K.

S6 : Thank you.

L : There you go.

S6 : O.K. はいっ。O.K. Thank you very much.

S5 : Excuse me?

L : Yes.

S5 : I bought this pen two days ago but this pen doesn't work, so I want to... this is the receipt for this pen. I want to have a refund. Is it possible?

L : Yes, here you go, here's your money.

S5 : Thank you.

表11 スキル7のフィードバック記録（二回目ロールプレイ）

**フィードバック二回目**

**【S2の演技】**

参加者「全然つまらずにいえていて完璧だった」「パーフェクトで問題ない」

本人「1回目と2回目の演技で変化をもたせたかった。返金するバージョンを演じてみたかった」

Ｊさん「問題ない」

Ｌさん「とても自然でよかったので、問題ない」

**【S3の演技】**

参加者「すごく愛想がよかった」「完璧だった」

Ｊさん「にこにこしていた」

Ｌさん「とてもよかった」

**【S7の演技】**

参加者「頼み方がすごく丁寧でよい。また最後の笑顔もよい」「スムーズな流れで、丁寧且つ適切な表現ができていた」

本人「フレンドリーにできるよう気をつけた。笑顔をもっと出したい」

Ｊさん「パーフェクトな表現が使えていた」

**【S4の演技】**

参加者「パーフェクトだった。交渉の後で、店の他のものも買うというアレンジができていた」

本人「短くて言う言葉も決まっていたので、自分だったらこうするかと思って、交渉の後で店の他のものも買った。この機会を利用して練習ができた」

Ｊさん「とてもよかった」

Ｌさん「とても自然だったし、買い物のセンスもあった」

**【S6の演技】**

参加者「すごくスムーズでうまい」「すごく丁寧な表現ができていてネイティブ並みでうらやましい」

本人「どういう風に丁寧に言おうかと意識してやった」

Ｊさん「とても自然だった」

Ｌさん「とてもよかった」

**【S5の演技】**

参加者「1回目と2回目の演技とで違う選択肢を選んでいてうまくできていた」

本人「意識して1回目とは違うバージョンで演じた」

Ｌさん「自分でもこう思ったと思う」

**【まとめ】**

講師「場面で要求されている行動をまず考えること。言い回しをたくさん持っておくことは大切だが、場面が理解できてから行動が得られるという順序になっている」

Ｌさん「1回目と2回目の演技を比べると、2回目の方がより明確になった。とりわけ、対話の始めに選択肢を提示するなどがよかった。販売員には親切で敬意をもって接すること」

Ｊさん「一番大事なことはフレンドリーであること。もし販売員を怒らせてしまったら、ダメになってしまうので、フレンドリーを心がけるとよい」

表12 スキル8の対話記録(一回目ロールプレイ)

## ロールプレイ一回目

S4 : Hi, what's up?  
 J : How are you doing?  
 S4 : Yeah, fine. I have something to ask...yesterday you invited me to a party in this weekend, but I have a problem. You asked me to bring Japanese food? Unfortunately there's no kitchen in the dormitory so...  
 J : Uh...  
 S4 : So I cannot make the Japanese food. But if I can use your kitchen I can make the Japanese food.  
 J : My kitchen. Uh...  
 S4 : So could you use...?  
 J : Uh, I refuse ?  
 T1 : Uh... say yes.  
 J : Yes.  
 S4 : Oh...yes.  
 J : What 's time is good for you?  
 S4 : It might be good...2 p.m.  
 J : Should...  
 S4 : Ah?  
 J : Maybe 3 o'clock.  
 S4 : Ah...  
 J : O.K.  
 S4 : O.K. So See you.  
 J : Uh...see you.

T2 : 最初に、あの頼んでみてくださいね。Could you ask to bring some Japanese food?  
 T1 : Ask them first.  
 J : O.K.

S7 : Hi, how are you?  
 J : Oh, S7, good to see you. Would it be possible for you to bring some Japanese food to the party next week?  
 S7 : Oh, O.K. Sounds good.  
 J : Oh,  
 S7 : But there is no instruments in my dormitory, but I brought the Japanese recipe written about the Japanese dish, so if you lent me your kitchen, I can...I could cook Japanese food. Is it ok?  
 J : Yeah, I think that'll be fine.  
 S7 : O.K. I will do my best.  
 J : Oh, I'm looking forward to it.  
 S7 : Yeah. See you this weekend.  
 J : Yes.  
 S7 : Yeah, see you. Bye.

S3 : Hi.  
 J : The party I told you about next week. I was hoping you could make some Japanese food, would that be ok?  
 S3 : Yes, I'd like to cook because I like cooking um but there is no kitchen in my dormitory, so I can't cook there. But if I can use your... the kitchen in your house, I can cook.  
 J : Oh...I see. Yeah, I'm free this evening. Would that be ok?  
 S3 : Yes.  
 J : All right. Why don't you come to my house this evening?  
 S3 : Thank you.

S2 : Hello.  
 J : Hi. We're having a party next week, would you like to come?  
 S2 : Yes.  
 J : Oh, good. Uh...everybody is bringing food. Would it be possible for you to bring a Japanese dish?  
 S2 : Uh...sorry my dormitory don't have kitchens, so I can't cook. But if I can use your house's kitchen, I will do cook Japanese food.  
 J : Uh...yeah, I think that will be fine.  
 S2 : So I will take some あれ?材料... Yes, I will, Thank you. I will cook next week. I'll do my best.  
 J : Thank you.

S5 : How have you been doing?  
 J : Good, how are you?  
 S5 : I'm fine, thank you.  
 J : About that party, would it be possible for you to bring some Japanese food?  
 S5 : Yeah, it really sounds good, I wanna join the party to bring my dishes but unfortunately my dormitory doesn't have a kitchen, so would you mind using your kitchen?  
 J : Yeah...tomorrow I have some free time, if you want to use it then.  
 S5 : Oh, you? Can I go to your... can I visit you tomorrow?  
 J : Yes, that'll be fine.  
 S5 : What's time?  
 J : Twelve o'clock.  
 S5 : O.K. I see. See you tomorrow.  
 J : Twelve o'clock, goodbye.  
 S5 : yeah, see you.

S6 : Hello.  
 J : Hey, how are you doing?  
 S6 : I'm good. How are you doing?  
 J : Well, not bad. My test was a little hard, but it was ok. We're having a party.  
 S6 : Yeah, I'm so much looking forward to the party this weekend.  
 J : um... you're making Japanese food?  
 S6 : Oh...well...yeah...actually I don't think I can.  
 J : Oh, really? Why not?  
 S6 : Because my room unfortunately my room doesn't have a kitchen.  
 J : I actually have a kitchen at my place.  
 S6 : May I use your kitchen?  
 J : Yeah.  
 S6 : Really? Thank you very much. I would love to cook Japanese food for you.  
 J : I would like to eat it.  
 S6 : So Thank you very much. So when is your convenient for you?  
 J : Un...tomorrow?  
 S6 : Tomorrow? What time?  
 J : 5 o'clock.  
 S6 : O.K. 5 o'clock. I'll see you tomorrow.  
 J : Alright.  
 S6 : See you.

表13 スキル8のフィードバック記録（一回目ロールプレイ）

**フィードバック一回目**

**【S4の演技】**

参加者「1回断る時に丁寧な表現がスムーズに出てきて、自然でよかった」「近寄って話しかけようとする態度が自然でよかった」

本人「姿勢や丁寧な表現を心がけた」

Jさん「Unfortunatelyという表現が使えていたのがとても自然でよかった」

Lさん「とても自然でよかった」

**【S7の演技】**

参加者「ユーモアと余裕が感じられ、言いたいことが言えていた」「フレンドリーな雰囲気の中にも丁寧な表現が使えていた

Jさん「よかった」

Lさん「とても礼儀正しかったし、感謝の気持ちで表現できていた」

**【S3の演技】**

参加者「アイコンタクトも取れていて、声の調子も内容もよかった」「作りたいんだけど作れないんだという残念さがよく伝わってきた」

Jさん「したいけどできないという表現が使えていた」

Lさん「とても親切だと思った」

**【S2の演技】**

参加者「明るくて本当の友達みたいだった」「難しい表現が分からなくても、自分の使える言い方で表現できていた」

本人「『材料』という単語が出てこなかったので困った」

Lさん「よくできていたが、I'll do my best.というのはアメリカではあまり使わない言い方なので、I hope you will like my dishes.などと言うとよい」

**【S5の演技】**

参加者「スムーズ」「言いたいことがスムーズに言えていた」

本人「どういう順序で話したらいいかを考える時間がもう少しほしかった」

Jさん「作りたいけど作れない、という表現ができていた」

Lさん「最初のところで、うまく提案できていたのが礼儀正しかった」

**【S6の演技】**

参加者「表現が多彩で自分が思いつかなかった表現がたくさん使われていた」「自然な会話ができていた」

本人「パーティには参加したいという気持ちは絶対伝えようと思ったし、相手の都合については自分から聞こうと意識した」

Jさん「完璧」

Lさん「とても自然だったし、仲の良い友達のように、パーティにとても行きたいという気持ちが伝わった」

**【まとめ】**

Jさん「練習することが大切。アメリカに行ったら、友達を作って一緒に過ごす時間を増やすようにすること」

Lさん「どこに行くにしても、話しやすい人たちと一緒にのことが多いはずだから、アメリカ人の友人を作るのがよいと思う」

**ネイティブによる見本のロールプレイ**

J: Hi, L.

L: Hi.

J: AH... listen, you know that party, we are having next week.

L: um.

J: Ah...would it be possible for you to make some Japanese food?

L: I'd love to, but the only problem is in my dorm room, there's no kitchen.

J: Ah, so you have no way to cook.

L: Do you have a kitchen at your house?

J: I do. Could you use it?

L: Could I please?

J: Sure. When is good for you?

L: Let's see um maybe tomorrow around one, is that ok?

J: one's fine...yeah. Looking forward to it.

L: Thanks your inviting me, see you tomorrow.

表14 スキル8の対話記録(二回目ロールプレイ)

## ロールプレイ二回目

S4 : Hi, what's up?  
 L : Hi. I was wondering. I'm having a party tomorrow. Could you come?  
 S4 : Yeah, of course. I want to come.  
 L : We're all bringing a dish or food, could you bring maybe some Japanese food?  
 S4 : Yeah, that's sounds good and I love to cook, but it will be a little difficult problem. Unfortunately, there is no kitchen in my dormitory.  
 L : Oh no  
 S4 : So do you have the kitchen in your home?  
 L : Do I have a Kitchen?  
 S4 : Or do you ...  
 L : Oh, yes, I do.  
 S4 : So, could I use..?  
 L : Of course. Yes.  
 S4 : Oh, thanks. When is the best?  
 L : . Maybe tomorrow before the party ...around one, is that ok?  
 S4 : Yes, that's good.  
 L : O.K.  
 S4 : See you then.  
 L : See you tomorrow.  
 S4 : See you.

S7 : Hi, how are you?  
 L : How are you?  
 S7 : I'm fine, thank you.  
 L : I'm, I forgot to tell you I'm having a party tomorrow.  
 S7 : Oh, really? Sounds good.  
 L : Can you make it?  
 S7 : Yeah.  
 L : O.K. So everyone's bringing some food, do you think you can bring some Japanese food?  
 S7 : Ah...that sounds good... well... unfortunately, there's no instrument in my dormitory. Do you have any idea?  
 L : **Hm, instrument...** You mean like a kitchen? Oh...well, you can come over to my house and cook in my kitchen.  
 S7 : Oh really? That's good. When do I go to your house?  
 L : Let's see... how about tomorrow before the party, maybe around one?  
 S7 : Tomorrow one is ok. I have a confidence about my ability. What kind of Japanese food do you like?  
 L : I love all Japanese food. What's your recommendation?  
 S7 : Sushi.  
 L : You can make sushi?  
 S7 : In fact, it's very tough task for me, but I hope you'll like my dish.  
 L : I'd love to try out a new dish.  
 S7 : Ok. I'll promise you.  
 L : I'm looking forward to seeing you tomorrow.  
 S7 : See you.

S3 : Hi. How are you?  
 L : Good.How are you?  
 S3 : I'm fine, thank you.  
 L : Oh I have to tell you, I'm having a party tomorrow. Would you like to come?  
 S3 : Yes, of course.  
 L : Ok, everyone is bringing some food, so do you think you can bring some Japanese food?  
 S3 : Yes, I would like to cook, but there is no kitchen in my dormitory. I'm sorry, but if I can use your kitchen?  
 L : Oh, yes. No problem.  
 S3 : Thank you. And when can I go to your house?  
 L : Let's see. How about tomorrow, before the party maybe about one? Is that ok?  
 S3 : Ok. Thank you. What Japanese food do you like?

L : um... I like so many Japanese foods. What do you like to cook?  
 S3 : I'm good at cooking Sukiyaki, so can I cook?  
 L : Yes, I love that.  
 S3 : I will do my best.  
 L : see you tomorrow.

S2 : Hello.  
 L : Hi. I wanna tell you I'm throwing a party tomorrow. Would you like to come?  
 S2 : Yes.  
 L : Ok, um everyone's bringing some food, so could you by chance you bring some Japanese food?  
 S2 : Oh...I want to cook it, but my dormitory don't have kitchens. So I can't cook.  
 L : Um  
 S2 : May I use your kitchen?  
 L : Yes, of course.  
 S2 : (ためらって) Yes, I will cook.  
 L : Ok, how about so come by my house tomorrow from one for the party?  
 S2 : Oh, yes, of course.  
 L : See you tomorrow.  
 S2 : See you.

S5 : Hi. How are you?  
 L : I'm good. How about you?  
 S5 : I'm good too.  
 L : It's been so long since I've seen you. I wanted to invite you to a party tomorrow.  
 S5 : Thank you. I will join it.  
 L : Good. Ah, we're all making food, so if you could bring maybe Japanese dish, it would be great.  
 S5 : I'm sorry. I want, but I don't have kitchen, so I can't. Do you have any good ways to cook? I have a recipe, so why don't you cook together?  
 L : That'll be great. Come over to my house around one tomorrow.  
 S5 : Yeah, I think I want to go to your home before the party, before we have the party and cook together, why don't you cook Japanese dishes?  
 L : Oh that sounds great.  
 S5 : What time should I go?  
 L : How about one? Is that OK  
 S5 : Ok, so see you tomorrow.  
 L : See you tomorrow. Bye

S6 : Hello. How are you?  
 L : Good, How are you?  
 S6 : Oh, I'm good, thank you.  
 L : Oh, I'm meaning to, I'm having a party tomorrow. Can you come?  
 S6 : Yes, of course. I can.  
 L : What we are doing is we're all cooking food for the party, so could you maybe by chance bring some Japanese food?  
 S6 : Oh... I wish I could cook, but unfortunately I don't have a kitchen ,and I can't cook in my room. So, do you have a kitchen in your room?  
 L : Yes, I do.  
 S6 : Would it be possible to use your kitchen tomorrow?  
 L : Oh Yes, no problem.  
 S6 : Thank you very much. So I think it might take one hour to cook Japanese dish. What time should I go to your place?  
 L : Maybe come an hour and a half before the party, maybe around one would be good?  
 S6 : OH, sounds good. Thank you very much, see you tomorrow.  
 L : See you tomorrow.

表15 スキル8のフィードバック記録（二回目ロールプレイ）

T1：じゃあS3さん。どうですか、今までずっと出ていただいていたけども最後のパフォーマンスは。  
 T2：3回全部出たんだね。  
 S3：はい。あ、今までですか。  
 T2：最後のパフォーマンスはどう？自分としては。  
 S3：最初はすごいほんとに緊張して、がちがちで、自分の、なんか、なんか言えない状態だったんですけど、なんかだんだんリラックスしてこうゆう場面ではこうゆう風にしたいいいんだっていうのが皆の見たりしてわかって、なんかすごい、やりやすかったです。  
 T2：最後は、どう？やってみて、言い尽くせなかったこととかある？  
 S3：今のですか？ほんとともっと会話をいろいろしたかったんですけど…いっぱいいっぱいでした。(笑)  
 T2：相手と、もっと喋りたい、もっとコミュニケーションしたい、もっと話し合いたいと思うことは、とってもいいことだと思いますよ。できるだけちょっとしか喋りたくないっていうのは、これは全然、あの友達としていい対応じゃないから。もっと話した いっていうのは、いいことだね。  
 T1：はい、そうですね。じゃあ、S7さんは、どうですか？  
 S7：はい、えっと、まずはどれくらい自分がしゃべれるかっていうのがわかったのが一番良かったかなって思っていて、で、日常会話…(笑)Nさんを見つける)  
 T1：あ、Nさんどうぞ～。(Nさんが参加)  
 S7：日常会話…だと、まあまあある程度、まあ詰まるんですけど、そこまで恐怖は無かったですけど、前回やった…クラスの中での意見を求められるときとか、即座に対応するのがすごい難しいって感じなので、まあ、まずは日常会話から慣れていければなあと思います。  
 T1：はい。  
 T2：友達との会話は確かにカジュアルだし気楽なんだよね。パブリックな度合いが増せば増すほど、おそらく失敗できないなあと思って緊張するんだらうね。  
 T1：ではビデオのほうが準備ができましたので、順に見ていきます。

**フィードバック二回目**

**【S4の演技】**

参加者「1回目よりもずっとスムーズ。理由も述べられていて、断り方が丁寧でよかった」「すごくフレンドリーな感じで、会話もスムーズでよかった」  
 Jさん「とても良かった。問題ない」  
 Lさん「少し恥ずかしがっているように思えたが、とてもよかった。友達どうしなら、恥ずかしがらなくてもよい」

**【S7の演技】**

参加者「自然な感じで、相手の好みを聞いていてよかった」「笑顔と自然な会話の流れができていた」  
 本人「面白かった」  
 Jさん「よく表現できていた」

Lさん「とてもよくできていた。聞きなれない単語（Instruments）を使っていたところもあったが、それは大丈夫」

Nさん「とても明確でよかった」

**【S3の演技】**

参加者「1回目の内容に加えて好みを聞いていて、実際に使えそう」「言いたいことがはっきりしていて、要件を伝えた後に、『じゃあ何が好きですか』と話を発展させられている」

本人「今回は『何を作りましょうか』という部分を付け加えるようにした」

Jさん「疑問文のときは語尾を少し上げる方がよい」

Lさん「『どんな日本料理にしようか』というところが聞いていて親切な感じだった。とても明確でよかった」

**【S2の演技】**

参加者「落ち着いていたので、話しやすそうな感じが伝わってきた」「ちゃんとアイコンタクトがとれていて、姿勢もよいため、台所を貸してもらえという信頼関係を持つことができそうな雰囲気だった」

本人「最後のところで、『I'll do my best』が1回目と同じく出そうになったので、同じにならないようにしようと思ったら、どうしようと思って真っ白になった」

Jさん「とてもよかった」

Lさん「少し緊張していたようだが、良かったので、言葉のことで心配し過ぎる必要はない」

Nさん「とてもよかった」

**【S5の演技】**

参加者「一緒に作らないか、というフレンドリーな感じ」「一緒にやろうと誘うことで、また友人と話す機会が増えるのはよいことだ」

本人「難しいのでネイティブのようになるには、まだ余裕が無い」

Jさん「友人同士のようにフレンドリーにできていてすばらしかった」

Lさん「会話がレシピのことや、一緒に料理することなど、詳細にわたっていたところがよい。フレンドリーで自然な感じ。現時点でとてもハイレベルなので、これからアメリカに行ったら向上し続けるだらうから、心配要らない」

Nさん「とてもよかった」

**【S6の演技】**

参加者「自分の伝えたいことを伝えられていて、スムーズで仲の良い感じが出ていた」「本当に友達同士の会話のようで落ち着いていた」

本人「楽しめた。実際にこういうことがありそう。相手のキッチンを借りるにはどうやって丁寧に頼んだらいいのか迷いつつやったが、楽しかったと思う」

Jさん「よく質問ができていて、とても自然だった。」

Lさん「カジュアルでとても自然。キッチンを借りる相手の都合を詳しく聞いていたのが親切でよかった」

Nさん「とてもよかった」

## 【考察】

参加者は、英語力の向上などを目的に留学に向かおうとしている大学生であった。彼らは情報収集を行いつつも、留学に関して様々な心配を抱えていた。友人ができるか、社会文化的適応ができるか、という項目に対しては、いずれかまたは両方が当てはまるとしていた。友人作りと社会文化的な適応を支援するねらいを持つ今回の学習は、彼らのこうしたニーズに合致した教育といえる。認知行動的な学習である本セッションは、背景にある文化的な考え方を理解したうえで、実際の言い回し、視線や声の調子などの非言語的な成分を適切に組み込んで、社会的妥当性と効果性の高い行動を、模擬的に演じながら、行動レパトリーの拡充を導こうとしている。断片的な情報収集のみでは、対人行動について背景にある文化と関連づけながら理解することは難しく、しかも発信型の学習は知るだけ、考えるだけでは、総じて難しいものと思われる。そこにアプローチできる点に、具体的な適応支援策としての行動レベルの学習の意義があろう。

セッションでのやりとりをたどると、場面を説明されて演じただけの最初のロールプレイでは、言葉に詰まったり、ぎこちなさがみられたりするが、助言を受け、良いところを励まされ、演技例からモデリングを行い、二度目にはしばしばより豊かなやりとりが生じている。このセッションへの心理的反応を分析した高濱・田中(2009a)では、セッション後の自信、動機付け、関心の高まりと、緊張や不安の低下が示唆されている。

演技では英語の正誤よりも、对人的な印象と意思の疎通に注意を向けるよう教示されている。ネイティブ学生のコメントも、表現の間違いを指摘するものではなく、総じてマクロな印象に触れている。実際の対人関係では、間違いやネイティブがあまり使わない表現が何個あるかということよりも、全体的な印象やメッセージの内容により注意が向けられ、友人関係を開始したり発展させたりする価値があるかどうか、判断されているものと考えられる。

スキル6では、一回目の演技に対してアイコンタクトや声の調子に注意が促され、全体の流れに留意するよう助言され、堂々と話していいと教示されている。二回目の演技の後には、学習者は「堂々とやりたかった」「印象をアップさせて終わるようにした」と、全体的な印象を意識するようになっている。説明の仕方もより充実したものになる傾向がある。

スキル7では、「このお客さんには何とかしてあげようと思ってもらうことが必要。文法的に完璧な英語を話すよりもむしろこういったことが重要。」「場面で要求されている行動をまず考えること」「一番大事なことはフレンドリーであること。もし販売員を怒らせてしまったら、ダメになってしまうので、フレンドリーを心がけるとよい。」といった助言がみられ、当該場面における行動選択の仕方を学んでもらおうとしている。一回目には「表現が一つしか思い浮かばなかった」と、表現に気をとられていた学生もいたが、二回目には「どういう風に丁寧に言お

うかと意識してやった」と、字句のみではなく言い方に留意したとの発言が見られている。

スキル8では、最初はすごく緊張したと述べていた学習者が、しかしながら「なんかだんだんリラックスして、こういう場面ではこういう風にしたらいいんだっていうのが皆の見たりしてわかって、なんかすごい、やりやすかったです」とも言っていた。つまり行動の方針の立て方が分かれば、より落ち着いて場面に対応できるようである。ネイティブ学生は、「言葉のことで心配し過ぎる必要はない」と、学習者がいわば言語恐怖症に陥って萎縮しないよう、助言をしている。そして「友達を作って一緒に過ごす時間を増やすように」「アメリカ人の友人を作るのがよい」と、関係性形成自体に動機づけを与える励ましをしていた。ネイティブ学生が対人関係の相手として留学生を見ると、そこにあるのは語彙や文法の正誤というより、歩み寄りの意欲であり全体的な印象形成であることが、学習者に伝えられようとしていたと言えるだろう。

今回扱った行為は、主張性というアメリカでは日本以上に重視され、しかも両国のギャップが大きいとされるものである。抗議や異議を伝えたり、意見を通そうとしたり、交渉したりするという難易度が高く勇気の要る場面も多い。語学のハンディを意識したら、さらに日本人が遠慮してしまいそうな場面も少なくない。だが文化的な行動規範を考えたとき、渡米する日本人に学んでほしい必須の行動であり、要求水準や要領を理解していくことは誤解を避ける意味でも重要と言える。

彼らがこの後、留学先でこうしたスキルをどこまで使っていかかは、別項において報告した(高濱・田中, 2009c)。彼らは積極的にスキルを使おうとしており、適応への効果を更に詳しく調べていくことが課題といえる。また次の問題として、帰国後のスキルのスイッチングも興味深い主題であり、留学の前・中・後をつなぐ縦断パラダイムの展開が期待される。

#### 引用文献

- 高濱愛・田中共子(2009a)「アメリカ留学準備のためのソーシャルスキル学習の試み アサーションに焦点を当てて」『異文化間教育』30, pp.104-110.
- 高濱愛・田中共子(2009b)「アメリカ留学準備のためのソーシャルスキル学習セッションの試み 対人関係の開始に焦点を当てて」『留学生教育』第14号, pp.31-37
- 高濱愛・田中共子(2009c)「在米日本人留学生による滞米中のソーシャルスキル使用 留学前ソーシャルスキル学習の受講者と非受講者の場合」『留学生交流・指導研究』Volume 11, pp.107-117.
- 田中共子(1994)『アメリカ留学ソーシャルスキル・通じる前向き会話術』アルク
- 田中共子・高濱愛(2008)「米国留学準備のためのアメリカン・ソーシャル・スキル学習：大学での学習場面への対応を課題とした中級セッションの記録」『岡山大学文学部紀要』第49号, pp. 31-48.
- 鶴田庸子・ポール・ロシター・ティム・クルトン(1988)『英語のソーシャルスキル』大修館書店

#### 註

本研究は、科学研究費補助金・萌芽研究No. 19653099(代表・高濱 愛)の助成を受けた。